

格付けの見直しと見直し方向の導入のお知らせ

株式会社日本格付研究所（JCR）は、格付けの見直しに関する情報へのニーズが高まっていることを踏まえ、「格付けの見直し」の対象を拡大すると同時に、クレジット・モニターに「見直し方向」を付記することとしました。今後格付けの見直しに着手し、同作業を終了した先について公表するニュースリリースについて、原則として下記の通りの取り扱いに順次切り替えることといたします。

(1) 「格付けの見直し」の対象を拡大

「格付けの見直し」の対象を拡大し、原則として全ての長期優先債務格付けと保険金支払能力格付けについて「格付けの見直し」（「ポジティブ」、「安定的」、「ネガティブ」、「不確定」、「方向性複数」）をニュースリリースのヘッダー部分において公表（添付1参照）。

(2) 「長期優先債務格付け」を併記

原則として全ての長期債、発行登録債、MTNの格付け（ただしストラクチャード・ファイナンス案件を除く）について、「長期優先債務格付け」を併記（添付1参照）。

(3) 「見直し方向」の導入

クレジット・モニターの対象となった全ての格付けについて「見直し方向」（「ポジティブ」、「ネガティブ」、「方向性不確定」）を導入しこれをニュースリリースのヘッダー部分に併記（添付2参照）。

【格付けの見直し】

- 「格付けの見直し」は、長期優先債務格付けまたは保険金支払能力格付けが中期的にどの方向に動き得るかを示すもので、「ポジティブ」、「安定的」、「ネガティブ」、「不確定」、「方向性複数」の5つからなります。
- 今後格上げの方向で見直される可能性が高ければ「ポジティブ」、今後格下げの方向で見直される可能性が高ければ「ネガティブ」、当面変更の可能性が低ければ「安定的」となります。
- ごくまれに、格付けの見直しが「不確定」または「方向性複数」となることがあります。格上げと格下げいずれの方向にも向かう可能性がある場合に「不確定」となり、個別の債券や銀行ローンの格付け、長期優先債務格付けなどが異なる方向で見直される可能性が高い場合には「方向性複数」となります。
- JCRは01年4月9日に「格付けの見直し」を導入し、ソブリン格付けを中心にこれを公表してきました。発行体の信用力についてのJCRの見解をより明確に示すために、今回対象を拡大し、原則として全ての長期優先債務格付けと保険金支払能力格付けについて「格付けの見直し」を公表します。
- 個別債券等の格付けには「格付けの見直し」を公表しませんが、個別債券等の格付けの見直しが長期優先債務格付けの見直しと異なると考えられる場合には、ニュースリリースにおいてその旨を明示した上で、長期優先債務格付けの見直しを「方向性複数」とします。

【長期優先債務格付け】

- 長期優先債務格付けとは、債務者（発行体）の債務全体を包括的に捉え、その債務履行能力を評価したものです。個別債務の評価（債券の格付け、ローンの格付け等）では、債務の契約内容、債務間の優先劣後関係、回収可能性の程度も考慮するため、個別債務の格付けが長期優先債務格付けと異なること（上回ること、または下回ること）もあります。



News Release

- ・ JCR は今後、原則として全ての長期債、発行登録債、MTN の格付けについて、「長期優先債務格付け」を併記します（ストラクチャード・ファイナンス案件を除く）。

【クレジット・モニター時の見直し方向】

- ・ JCR は、発表した格付けにつき、定期的な見直しを行う場合に加えて、戦争、大きな事故、合併、訴訟、行政措置、大幅な業況の変化など格付変更の可能性があると判断した場合には、クレジット・モニターの対象とし随時格付けの見直し作業を行うとともに、その旨を「クレジット・モニターの対象とした」と発表しています。クレジット・モニターの対象となった格付けには、それが解除となるまで格付記号の前に「#」が付けられます。
- ・ JCR は、クレジット・モニターの対象となった全ての格付けについて「見直し方向」を付記します。「見直し方向」はクレジット・モニターの対象となった格付けがどの方向で見直されるかを示すもので、「ポジティブ」、「ネガティブ」、「方向性不確定」の3つからなります

【見直し/見直し方向と格付けの変更】

- ・ 「格付けの見直し」およびクレジット・モニターの「見直し方向」は、格付けの変更を予告するものではありません。また、「格付けの見直し」が「安定的」である発行体についても、状況によっては「格付けの見直し」の変更やクレジット・モニター指定なしに格付けを変更することがあります。

以 上



News Release

【添付1】ニュースリリース見本：長期優先債務とその格付け見直し

05 - D - x x x
2005年x x月x x日

株式会社 (証券コード：XXXX)
 長期優先債務新規格付：「AA」(ダブルAフラット)
 格付けの見直し：「安定的」
 長期債務格付据置：「AA」(ダブルAフラット)

株式会社日本格付研究所（JCR）は以下のとおり債券の格付けを見直し据え置きとした上で、新たに長期優先債務*の格付けをしましたのでお知らせします。

* 長期優先債務格付けとは、債務者（発行体）の債務全体を包括的に捉え、その債務履行能力を評価したものです。このうち、期限1年以内の債務に対する債務履行能力を評価したものを短期優先債務格付けと位置づけています。個別債務の評価（債券の格付け、ローンの格付け等）では、債務の契約内容、債務間の優先劣後関係、回収可能性の程度も考慮するため、個別債務の格付けが長期優先債務格付けと異なること（上回ること、または下回ること）もあります。

発行体：		株式会社			
【新規】					
(対象)	(格付)	(見直し)			
・長期優先債務	AA	安定的			
【据置】					
(対象)	(発行額)	(発行日)	(償還期限)	(利率)	(格付)
・第x回無担保社債	X,XXX億円	XXXX年XX月XX日	XXXX年XX月XX日	X.XX%	AA

【格付事由】

(1)

以上

格付けは、信用すべき情報に基づいたJCRの意見の表明であり、その正確性、完全性、特定の目的への適合性等は一切保証されておりません。また、格付けは、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の売買・保有を推奨するものではありません。格付けは原則として発行体から対価を受領して行っております。

※無断コピー・転送は固くお断りします。

株式会社 日本格付研究所

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8
時事通信ビル

<情報提供電子メディア（検索コード）>
 BLOOMBERG (和文：JCRA / 英文：JCR) REUTERS (EJCRA)
 QUICK (和文：QR / 英文：QQ) TELERATE JIJI PRESS
 <お問い合わせ先>
 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026 担当：情報部
<http://www.jcr.co.jp>



News Release

【添付2】ニュースリリース見本：クレジットモニター開始時

05 - D - x x x
2005年XX月XX日

クレジットモニター（ネガティブ）のお知らせ

〇〇〇株式会社（証券コード：XXX）

長期優先債務格付：「BBB」 「#BBB/ネガティブ」（トリプルBフラット）

長期債券格付：「BBB」 「#BBB/ネガティブ」（トリプルBフラット）

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり長期優先債務*および長期債券の格付けをクレジットモニター（ネガティブ）の対象とし、見直しを開始しましたのでお知らせします。

発行体：〇〇〇株式会社

【クレジットモニター（ネガティブ）】

(対象)	(格付)				
・長期優先債務	#BBB/ネガティブ				
(対象)	(発行額)	(発行日)	(償還期限)	(利率)	(格付)
・第×回無担保社債	X,XXX億円	XXX年XX月XX日	XXX年XX月XX日	X.XX%	#BBB/ネガティブ
・第×回無担保社債	X,XXX億円	XXX年XX月XX日	XXX年XX月XX日	X.XX%	#BBB/ネガティブ
・第×回無担保社債	X,XXX億円	XXX年XX月XX日	XXX年XX月XX日	X.XX%	#BBB/ネガティブ

【事由】

(1) . . .

以上

クレジットモニター

当社が発表した格付けにつき、定期的な見直しを行う場合に加えて、戦争、大きな事故、合併、訴訟、行政措置、大幅な業況の変化など格付変更の可能性があると判断した場合には、クレジットモニターの対象とし随時格付けの見直し作業を行うとともに、その旨を「クレジットモニターの対象とした」と発表しています。クレジットモニターの対象となった格付けには、それが解除となるまで格付記号の前に「#」が付けられます。

クレジットモニターには、格上げの可能性が高いことを示す「ポジティブ」、格下げの可能性が高いことを示す「ネガティブ」、格上げ、格下げ、格付け据え置きいずれの可能性もあることを示す「方向性不確定」があります。なお、「ポジティブ」と「ネガティブ」は格上げや格下げを予告するものではありません。